



じどうし たどうし
自動詞・他動詞

レストランや電車などには、図1のように人や物が近づくと“自動で開く”ドアがありますね（ドアが開く）。しかし、普通は図2のように“人が自分で開ける”必要があります（ドアを開ける）。



ず じどう
図1. 自動ドア



ず ふつう
図2. 普通のドア

★上の例のように「Aが～」（A＝主語）の形で使われる動詞を「自動詞」、「Aを～」（A＝目的語）の形で使われる動詞を「他動詞」といいます注1。

Aが	+	じどうし 自動詞	例) ドアが閉まる。電気が消える。太郎が起きる。
ひと	Aを+	たどうし 他動詞	例) ドアを閉める。電気を消す。太郎を起こす。

しかし、全ての動詞が“自動詞・他動詞のペア”になるわけではありません。

★“自動詞だけの動詞”（例：赤ちゃんが泣く、星が光る、子どもが成長する、祖母が散歩する注2）や、“他動詞だけの動詞”（例：幸せを感じる、生徒を褒める、ふとんを干す、財布を忘れる）、また、“自動詞と他動詞の形が同じ動詞”もあります（例：レストランが／を開店する、夢が／を実現する、オリンピックの開催が／を決定する、風が吹く／口笛を吹く）。



だいいちごう
♪おまかせロボット第1号♪

寒くて早く起きられない朝、自分の代わりに何でもしてくれるロボットがいたら、どんなにいいでしょう！ 歌の中でロボットは「（私が）Aを～ましょう（他動詞）」と進んで働いてくれます。そのあと「Aが～ました（自動詞）」と教えてくれますよ。

- (1) 「Aに～」の形で使われる他動詞もあります（例：彼に賛成する、親に頼る、先生に質問する）。
- (2) 「散歩する、渡る、飛ぶ、通過する」など“移動”の意味を持つ自動詞では、その場所を「を」であらわします（例：祖母が公園を散歩する、坊主が橋を渡る、UFOが空を飛ぶ、新幹線が浜松を通過する）。

にほんご発音ラボ

ことばと表現

- ▶ (お) 目覚め：眠りから覚めて、起きること。
- ▶ やけに：(いつもの朝と違って) 非常に。
- ▶ 冷えますね：「冷える」は“寒くなる／冷たくなる”という意味の自動詞。他動詞は「冷やす」(例：冷蔵庫でワインを「冷やす」＝“冷たくする”)。
- ▶ プレゼン：「プレゼンテーション (presentation)」を短くした言い方。

歌詞から学びましょう



ペアになる自動詞・他動詞

わたくしに
おまかせください！



★よく使われる自動詞・他動詞のペアを練習します。

♪「 」の中はロボットの声で言ってみましょう。

	た どうし 他動詞	→	じ どうし 自動詞
カーテン	あ 開けましょう (開ける)		あ 「開きました」(開く)
ストーブ	つけましょう (つける)		「つきました」(つく)
トースト	や 焼きましょう (焼く)		や 「焼きました」(焼ける)
コーヒー	い 入れましょう (入れる)		い 「入りました」(入る)
サラダ	を つく 作りますね (作る)		が 「できました」(できる)
タオル	か 替えましょう (替える)		か 「替わりました」(替わる)
髪のかみ	なお 直しましょう (直す)		なお 「直りました」(直る)
ミーティング	はじ 始めましょう (始める)		はじ 「始まりました」(始まる)
スケジュール	き 決めましょう (決める)		き 「決まりました」(決まる)

★歌詞にカタカナ語が12個出てきます。長音や“下がり目”に注意してください。



確かめましょう

友だちに借りた本が見つかりません。“ごめんなさい”の気持ち^{きもち}が伝わる^{つた}のはどちら？

①本がなくな^なってしまいました (本がなくな^なる)。 <自動詞>

②本をなく^なしてしまいました (本をなく^なす)。 <他動詞>

☞②は文の初めに「私 (=主語)」が隠されています (私が本をなくした)。「本がなくな^なった」のは“自分のせいだ”と言っていますから、謝罪の気持ち^{きもち}が伝わります。